

道路を守るためにできること

江津市立津宮小学校 四年斉藤涼乃

わたしは、いつも学校へ歩いて登校しています。いつも通る道路。思うことがたくさんあります。

「九号線」っていう大きい通路、どこまで続いているのかな。なんで九号線っていうのかな。出かける時あるトンネル、もしこのトンネルがなかったらどうするのかな。ちよつと考えただけで、ふしぎなことがたくさんでてきます。

浜田へ行く時、道路のそばに花だんがあります。広い歩道があり、安全に人や自転車が通っています。そのけしきを見るといい気持ちになります。

反対に帰る時、ゴミがあつたり、たばこのすいがらがあつたりすると、とても悲しくなります。

私は、ときどき、弟たちと近所の道路のゴミ拾いに行きます。その時に一番多いのは、たばこのすいがらとガラスのはへんです。どうして、すいがらやガラスがこんなにあるのかなあ。たばこはすったら、きちんとはいざらに入れ、自分がかたづけるのがマナーだと思います。

九号線を見た時、道路がかけたり、ひびわれをしたりしているのを見てびっくりしたことがあります。私は、なんでこうなるのかなとふしぎでした。車がたくさん通つてかけたのでしょうか。地しんや雨でそうなったのでしょうか。すごく大きくかけていたので、びっくりしました。

私のおじさんは、道路にかかわる仕事をしています。道路がかけていたことをおじさんに言うと、すぐ直してくれました。

道路で、かけていたり、こまつたことがあつたりしたら、道路を守るお仕事をしておられる人に、電話や手紙で伝えれば、いいと思います。島根県もたくさん道があるので、すべての道のことを道路のお仕事をしておられる人が知っているとはかぎりません。分からないから、直せないこともあるかもしれません。だから、困っていることはきちんと伝えた方がいいと思います。

でも、道路を守る人だけにたよらず、自分達でもできることがあります。道路のゴミは人が捨てるから、きたなくなりません。捨てないで持つて帰ることが大切です。このことを学校や仕事場でよびかけてもらいたいし、もし捨ててあれば拾つていきたいと思います。